



霧が丘

令和4年6月24日
横浜市立義務教育学校
霧が丘学園
校長 関口 和弘

忘れられない体育祭～ひたむきにゴールを目指す姿～

中学部副校長 濱部 剛

5月28日(土)、中学部では「Bright Stories～仲間と創る勝利への道～」のスローガンの下、令和4年度の体育祭が無事、大成功のうちに終了することができました。今年度の体育祭は、生徒にとっても、保護者の皆様にとっても、我々教職員にとっても忘れることのできない、意義深いものとなりました。



前日の雨天により開催が心配されましたが、一転して良すぎるくらいの好天に恵まれ、生徒たちが待ち望んだ体育祭の舞台として最高の天気となりました。全校生徒が3色に別れ、チームの団結力を高める集団演技『団結の儀』で体育祭の幕が開けました。グラウンドが3色に染められ、自分たちのチームだけでなく、他のチームの演技にも歓声をあげる全校生徒の一体感は圧巻で感動的でした。その後が続いた競技はどれも大盛り上がりで、どの競技でも生徒の熱気と高揚感を感じることができました。「勝利に向かって頑張る姿」、「チームのために自分にできる最大限を出し切ろうとする姿」、「仲間とともに活動できることへの喜びを感じている姿」など、いろいろな生徒の姿を見ることができました。

今年度の体育祭は、生徒と職員がアイデアを出し合い、昨年までコロナ禍の影響により制限されていた体育祭をどう盛り上げるか話し合い、準備を進めてきました。競技や応援を通して感動を共有した生徒・教職員にとって思い出に残る体育祭となりました。特に9年生はこの体育祭を通して、学年を超えた縦の繋がり、学年間の横の繋がり、大切さを知り、霧が丘学園のリーダーとして成長してくれました。

もう一つ忘れられないことは、保護者の皆様と地域の方々のご理解とご支援です。5月28日(土)、大変暑いなか、朝早くからたくさんの保護者の方にお手伝いや応援に来ていただきました。また、地域の方々をお招きすることはできませんでしたが、中学部の活動にご理解いただき、支えていただきました。心より感謝申し上げます。

霧が丘学園では、「9年間で育てる子ども像」として「すすんで挑み、自分をみかくことができる子ども」をスローガンとして掲げています。今年度の体育祭では、学校・家庭・地域が一体となって育てた、挑戦し続け、粘り強く、仲間と協力し、課題・困難を乗り越えていく子どもたちの姿を見ることができました。霧が丘の子どもたちが未来に向かって成長するために、今後とも保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【学校の様子をホームページにてお知らせしています】
各学年の活動や、学校からのお知らせを掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

<霧が丘学園ホームページ>

URL <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es-jhs/kirigaoka/>



QRコード